

所沢市社協主催 歳末応援子育てフードパントリー 栄養士科1・2年生が力を合わせクッキー作成・ラッピング & 配布ボランティアへ4名参加



バックごはんやお餅、レトルト食品、お菓子、
庭で採れた「柚子」もありました！



12月14日(木)・15日(金)の2日間 所沢市のこどもと福祉の未来館にて開催の歳末応援子育てフードパントリーの活動へ専門学校の栄養士科1・2年生が参加。

この活動は所沢市こども未来基金及び赤い羽根共同募金を活用し、所沢市社会福祉協議会が主催。対象のひとり親世帯(18歳以下の子どもを持つ医療費助成の対象者や収入減少世帯等)へ食品や衣類を配布し、年末年始の生活を応援するため開催。

毎年、この時期に子育てフードパントリーを開催しているが(年末年始は保育園や学校が冬休みに入り、給食がないこの時期に役立つもの、また、食品を購入する代わりに他の生活必需品購入にお金をまわせるという側面もある)、西武学園の参加は初めてだが、栄養士科1年生が調理実習の一環で、クッキーを作り、2年生がラッピングを行い、当日の配布ボランティアにも4名が参加した。

参加団体として、所沢市内の市民活動団体、学校、企業、地域福祉サポーター、市内在住の方も協力し、食品の仕分けや設営、配布ボランティアを行った。

学生が作ったクッキーの他、市内の工場で作られたパン、企業からの寄贈品、購入した食品、賞味期限内の食品だが家で食べないものを持ち寄ったもの(=フードドライブ)、市内で採れた野菜や果物、衣類バンクからの靴下等、「フードバンクところざわ」からは粉ミルクの提供もあった。

当日の様子は、事前予約であったため、子ども連れの方も来所されたが混乱もなく、世帯人数や子どもの人数に合わせて食品のお渡しをした。家族の好みに合わせて食品を選択できるブースもあり、利用者はエコバック2~3袋分の食品・衣類等を受け取った。

2日間で57世帯の予約があり、46世帯が来所。
関係の皆様 ありがとうございます。

★型抜きクッキー
★アイスボックスクッキー
詰め合わせ

食品を受け取った後、家に帰る前に待ちきれず、配布会場内の椅子に座り、クッキーを嬉しそうに食べる女の子(3歳位)もいました。



帰る前に「ありがとう」と大きな声でお礼を言って配布会場を出る姉弟(5歳・3歳位)もいました。

一緒に活動した所沢校の隣の短大の先生から、調理実習室の前の道路を通ると「いつも楽しそうな様子が見えます」と言われました。



★フードパントリーとは？→寄付や購入によって集めた食品等を、必要とする人に配布する活動。
フードパントリーを開催することは、地域のソーシャルワーカーとも顔を合わせることで他の支援につながったり、地域の人とのふれあいや見守りの場になる。

★海外ではクリスマス前のこの季節、教会・スーパー・職場・学校等の様々な場所でフードドライブを行い、必要な方へ食品を提供する文化がある。
また、失業などで生活に困って必要な時に、(常設の)フードパントリーへ立ち寄ることが可能な環境が整っている。

日本では他の公共施設のように、いつでも気軽に立ち寄ることができる場所にはなっておらず、認知度も低いのが実情。

